

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

国立国際医療センター膠原病科では、本センターで保管している診療後の残余（余った）検体と診療情報等を使って、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究に利用・提供し欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。18歳未満の方につきましては、保護者様からの申し出も受け付けております。

[研究課題名] シェーグレン病に関する包括的データベース の構築及び病態機序の解明

[研究対象者]

2000 年4月1日～2030年3月31日までの間に国立国際医療センター膠原病科に通院または入院された方のうち、シェーグレン病と診断された方

[利用する検体・診療情報等の項目と取得方法]

検体：血漿、唾液腺組織

診療で検査を行った後に余ったものを利用します。

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、検査結果（血液検体・尿検査、心電図、眼科診察、病理診断）

カルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的] （遺伝子解析研究：唾液腺組織において行う可能性あり）

シェーグレン病の口腔乾燥病態について解明することを目的としています。一部の患者様の唾液腺組織について病態に関わる遺伝子解析を施行致します。

[共同研究機関及び研究責任者]

上記の検体・診療情報等を、下記機関に対して、唾液腺組織の空間遺伝子解析実行のために提供します。

〔主な提供方法〕 ☒直接手渡し ☐郵送・宅配 ☐電子的配信 ☐その他（ ）

国立がん研究センター研究所 がん細胞システム研究ユニット 独立ユニット長 関根 圭輔

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2030年3月31日までの間（予定）

-----  
[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する検体や診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 膠原病科 医長 山下 裕之

研究内容の問合せ担当者：国立健康危機管理研究機構 膠原病科 医長 山下 裕之

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9 時～16 時）